



芥子の光

第4回 11月度例会

尾高庸子

平成25年11月19日(火)岡山ゆうあいセンター2 階

先史古代研究会

芥子山と如法寺

- 芥子山は西大寺地域の最高峰（233m）の山です。円錐状の端正な山容は備前富士と呼ばれ古くから地元民に親しまれています。古代は加夜見山・高倉山・鹿島山・蚊島山とも呼ばれていたようです。
- また芥子山山頂を雄芥子・東側の高地を雌芥子と呼び、山頂には巨岩があり、それを天翔る神の依り代となる磐座として『重巖大権現』という名で祀られています。
- 広谷山如法寺無量寿院は聖武天皇の時代、神亀2年（725年）大倫和尚によって頭塔寺院として開山されました。（報恩大師が開いた備前48ヶ寺の1つ）
- 鎌倉時代には備前山岳寺院として山中に8ヶ寺を数える全盛時代がありましたが、その後衰退し、中興したのは花山天皇の時代で、現在は花山天皇の勅願寺として法灯が続いています。
- 応仁の乱以後、戦火の拡大で1505年、赤松氏により焼かれた本堂は1768年再建され、また2011年に本堂の修復工事を行い、現本堂には当時に用いられた中世の建材が残されています。
- 西大寺会陽の宝木（しんぎ）の原木を西大寺の使者に授与する「宝木取り」という儀式が行われることで知られています。

本堂修復と本尊・仏像修復

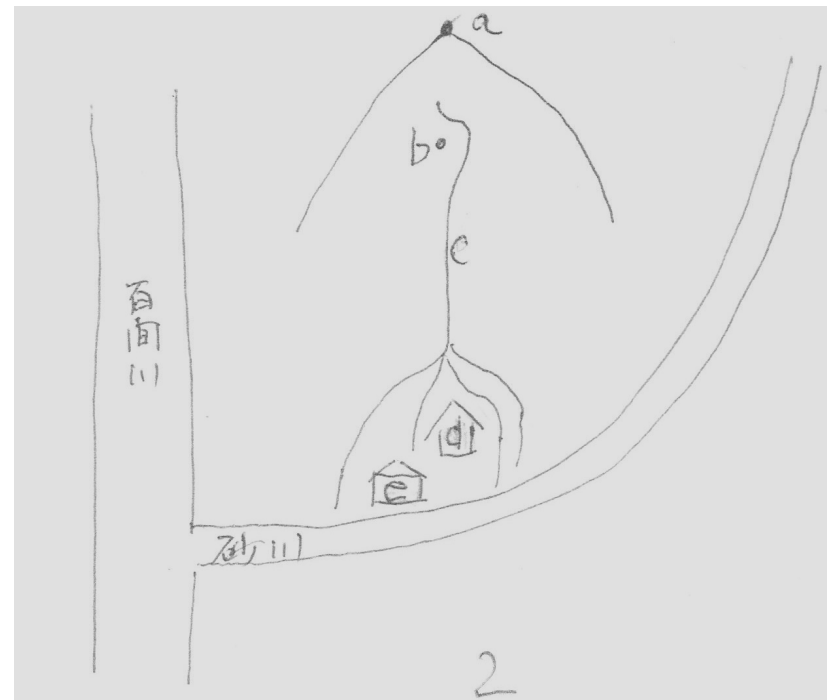
- ①薬師如来坐像（伝行基作）
- ②不動明王立像
- ③毘沙門天立像
- ④韋駄天立像／シバ神の子といわれる（アレクサンダー大王の姿？芥子山の重巖大権現との関連が注目される）
- ⑤大日如来坐像／手の形に注目
- 4月第3日曜日に芥子山会陽が行われ、その際に御開帳がある



韋駄天立像

如法寺

- a重巖大権現（不動明王）／東南向き
- b無量寿院（薬師如来）／本堂の裏窓から薬師如来坐像の光背に光が射す
- c広谷川
- d藤原皆足姫／周防国（山口県）玖珂庄より移り住む。この地で犀の角を拾う（犀戴寺～西大寺の由来）
- e大内家／山口県の大内家の雁木



操山(三棹山)と豎巖宮

- 恩徳寺（750年）の裏山であり、豎巖宮（立石）は、真東の芥子山の山頂にある磐座より昇る太陽を御神体とする古代太陽信仰の祭場があった聖地とされています。
- 豎巖宮を報思大師が高松にある八畳岩に移し、後に最上稲荷（785年）になった経緯があります。

（勸請説・丸谷追記）

- 恩徳寺には高松最上稲荷との伝承無
- 恩徳寺では本堂の真正面にある高倉山の磐座より昇る太陽を御神体としている。
- **最上正一位豎巖稲荷大権現。(恩徳寺本堂裏)**



曼荼羅

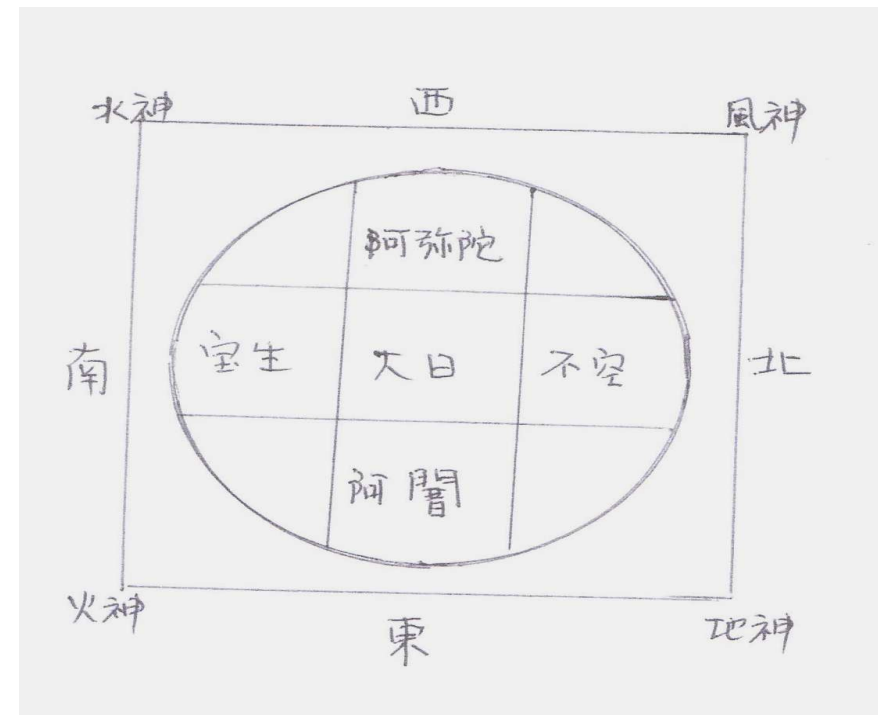
- 弘法大師の師である、唐の長安・青龍寺の恵果阿闍梨により金剛界曼荼羅・胎藏界曼荼羅の2つの密教系統が統合されました。
- 遡り、この2つの曼荼羅は7世紀中頃から終盤にかけてインドで成立しました。



金剛界曼荼羅と胎藏界曼荼羅

- 金剛界曼荼羅：大日如来の説く真理・悟りの境地を視覚的に表現したもの（東向き）
- 胎藏界曼荼羅：人が本来持つ仏性の種子が、仏の慈悲により目覚め、育ち、やがて悟りに至るまでの過程を描いたもの（西向き）

•



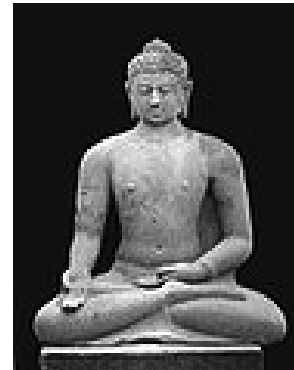
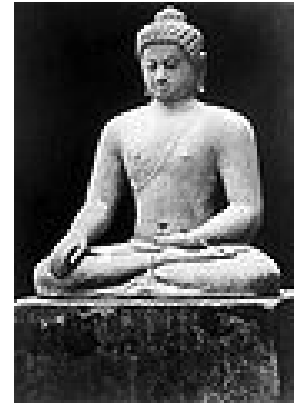
五大宇宙法界

- 五大（物理的原理）
理／胎藏界曼荼羅
- 識大（精神的原理）
智／金剛界曼荼羅



金剛界五仏

- 中央の大日如来
 - 東方の阿閼如来
 - 西方の阿弥陀如来
 - 南方の宝生如来
 - 北方の不空成就如来
- 東 西
 南 北



曼荼羅とは『円環』

- 曼荼羅とはサンスクリット語で『円環』の意味に由来し『マンダ（神髄）』と『ラ（持つ）』という意味に分解される。これはヒンディー語（インド哲学）の『ヨーガ』と同意語で、心の構造を自然の形に具現化したものとされている。



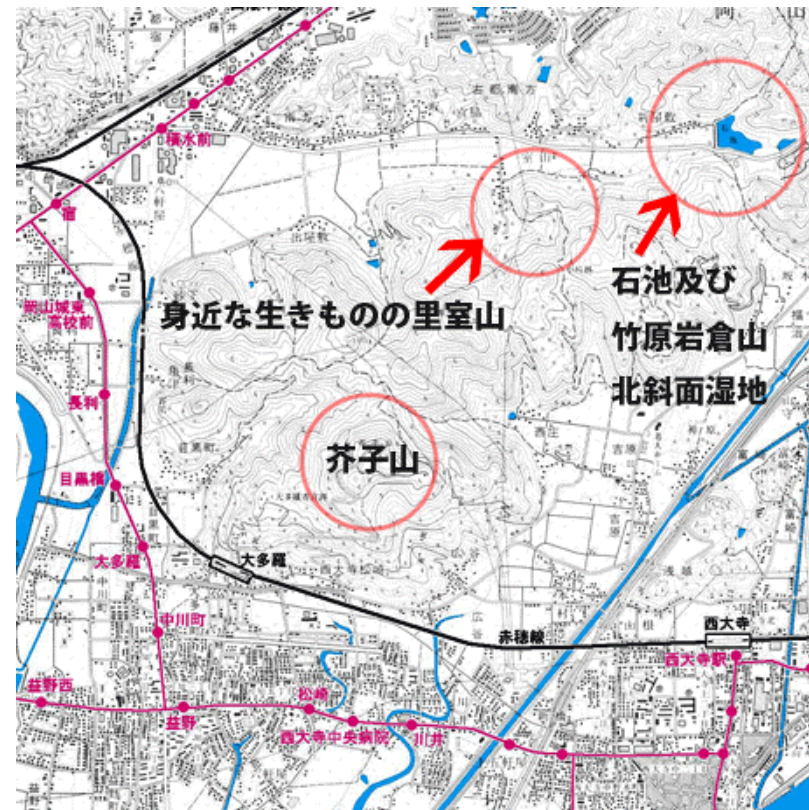
如法寺の大日如来

- 如法寺の大日如来は、左手の人差し指を右手の拳で包み込む「智拳印」をむすぶ『金剛界大日如来』です。
- オンアビラウンケンバ
ザラダトバン
- =大日如来



芥子山は立体曼荼羅

- 芥子山山中には七福神・大黒天（シバ神）・毘沙門天等の石仏（神？）が点在しています。
- これらの神々は日本に伝わってくる過程で名を変えたもので、上記の曼荼羅の中の仏様とも関連性を見出すことができるのではないかと考えています。芥子山自体を立体の曼荼羅として見ることはできないでしょうか。



奈良東大寺の頭塔

- 頭塔とは、奈良時代末期においてインドの新様式を取り入れた最先端の仏塔をいいます。
- 東大寺の南にある頭塔は玄昉の首塚説があります。
- （東大寺開山の良弁と玄昉は岡寺で同学僧。767年良弁が新薬師寺の西に土塔を建てたとの記録あり）
- 藤原不比等政権の後、橘諸兄政権が発足し、諸兄は唐から留学帰りの玄昉・吉備真備を登用し、新知識（頭塔）の導入を図りました。



大野寺の土塔

- 土塔（どとう）は、土塔山観音院大野寺(大阪府堺市土塔町)の境内にあった日本最大規模の「仏塔」です。
- インドネシアにあるボロブドゥール遺跡（カンボジアのアンコールワット・ミャンマーのバガンと並ぶ世界3大仏教遺跡）と似ていて、ボロブドゥール遺跡も立体曼荼羅をあらわしており、共通点が見られます。また、どちらも胎蔵界曼荼羅を表現しています。



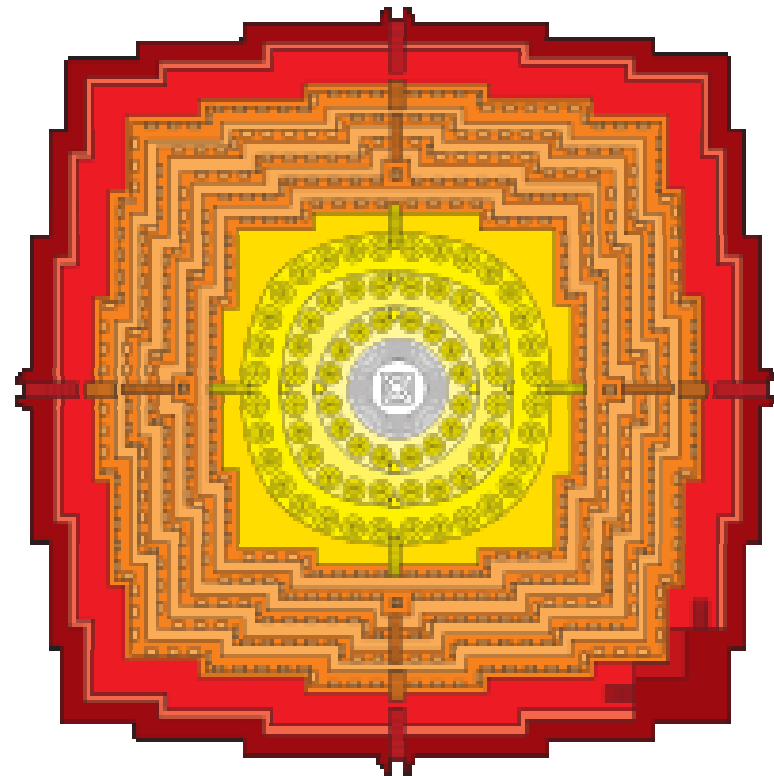
仏教以前の太陽信仰

- ボロブドゥール遺跡の真東にパオン寺院・ムンドゥ寺院という施設が長距離にわたって並んでいることから、仏教以前の太陽信仰の名残があると指摘されております。ここには亀甲紋様（楯築遺跡の弧帯紋石に似た）石があり、お墓の中には割った亀甲紋様の石も入っていたようです。
- 楯築遺跡にも同様のものが見られますが、楯築の弧帯紋石も復活再生を意味しているとされることから、仏教という胎蔵界曼荼羅の思想と共通するものが感じられます。



信仰の時代変遷

- 信仰は、時代によって大きく変化します。ただし、その聖地に相当する土地を探す場合、大抵は同じような場所を選ぶのだと思います。
- 古代信仰と、その後入山した仏教、宗教は変わっても、根底には同じような思想が受け継がれているのだと思います。
- 考えが飛躍しますが、東に芥子山の金剛界曼荼羅、西に楯築の胎藏界曼荼羅があると考ええると非常にロマンを感じます



■ Kāmadhātū ■ Rūpadhātū ■ Arūpadhātū

天神八王子月尾宮

- 芥子山の真東に天神八王子月尾宮という神社があり、蘇民将来説話の武塔神が祀られています。祭神がスサノオではないのが珍しいとのこと。
- 西大寺会陽の宝木に巻かれる牛王宝印との関連でしょうか。
- この神社は芥子山に夏至の光を拝む社として建てられたと伝わっています。
- 古代太陽信仰から神仏習合、さまざまな信仰が混在する中、芥子山がこの地でいかに重要な位置付けをされているかがうかがえます。



竹内文書の日來神宮

- 竹内文書
 - 平群真鳥(へぐの まとり)を祖とした正統竹内写本。いわゆる古史古伝の書物。南朝系の古文書を編纂したとされる。
 - 日來神宮
 - 竹内文書の中に「巨石遺構」に係る記述があった。武内文書の「御神宝」の中の御神体石に神代文字で彫りこまれていた。
 - 『イヤヨ月円(まど)六日、吉備常根本国 大綱手彦命天皇靈廟 亦ノ名メシヤ日ノ神月ノ神 造主神日來神宮』
要約すると「3月16日吉備津根本国に大綱手彦の靈廟を造った」という。
 - 大綱手彦: ウガヤ・フキアエズ朝12代天皇の叔父・・・ニギハヤヒ
 - 吉備津本国: 備前・備後の国をさす。
-
- ピラミッドの語源、日來(ヒライ)神宮説の紹介である。(丸谷追記)
 - 中国の白いピラミッド(グーグルアースで撮影)

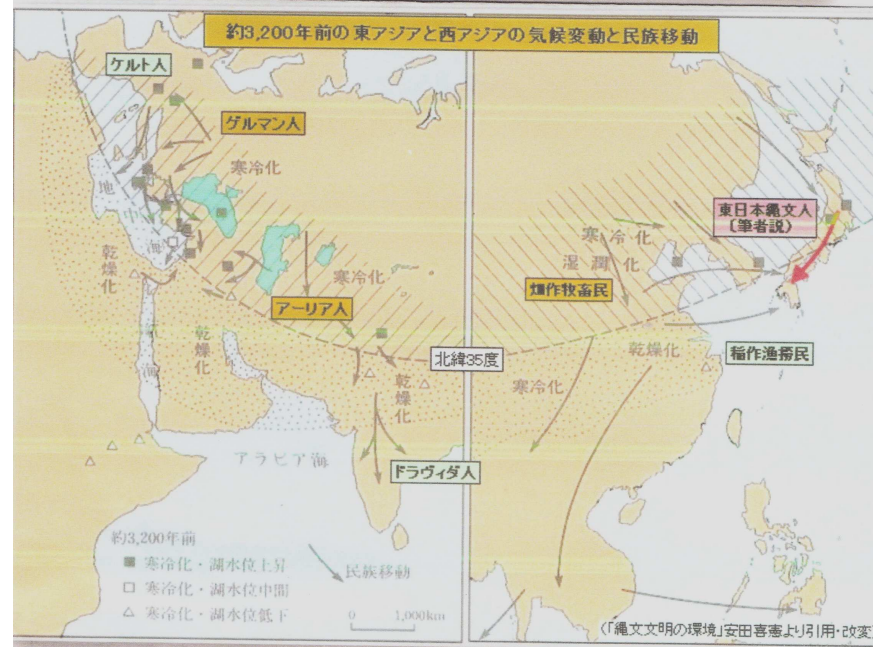
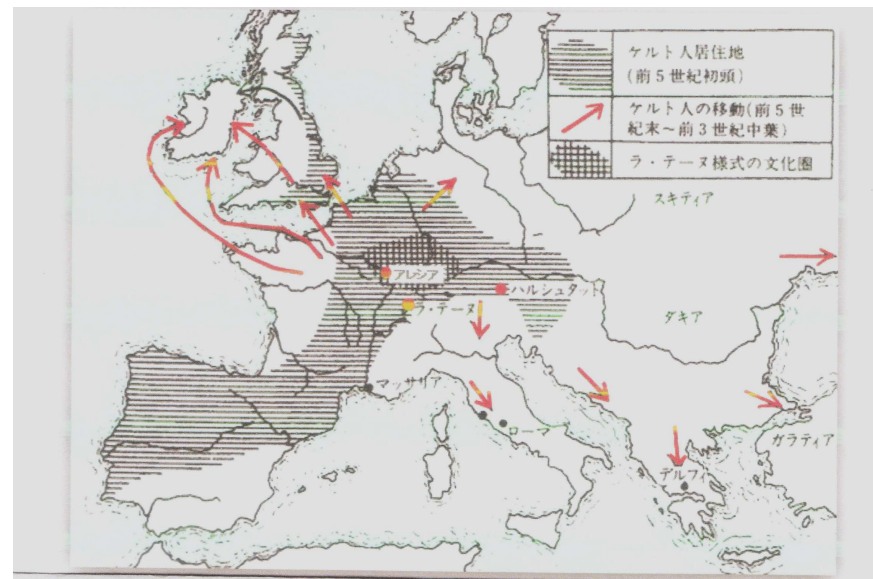


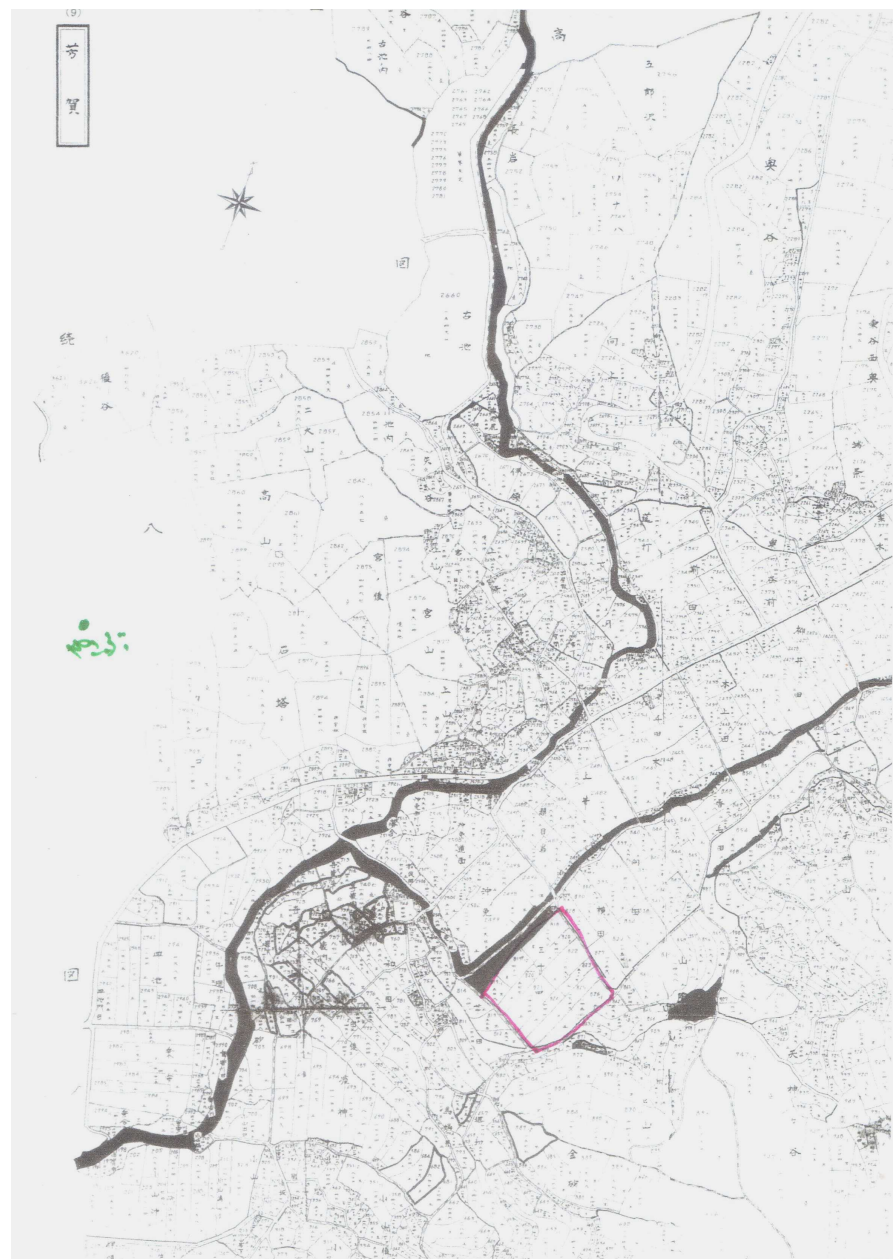
『ヒルコ』戸矢 学 (宮内庁式部官)

- 鴨氏/
 - 先代旧事本記
 - 天照国照彦天火明櫛連日命(ホアカリクシタマニギハヤヒ)・・・ニニギの兄
- 日本書紀
 - 天火明命(彦火明命)・・・尾針神社
- 日本書紀
 - 加茂別雷神命・・・上加茂神社
- 素鷲の子
 - 日本書紀
 - 五十猛命(イソタケル)・・・伊太祈曾神社(神紋は太一、太伯を示す)
 - 日本書紀
 - 八王子・・・新羅の牛頭山に祀られたスサノオの子
 - 古事記・出雲国風土記
 - 清之湯山主三名狭漏彦八島野神(スガノユヤマヌシミナサロヒコヤシマノカミ)・・・奇稻田比売の子

ヒルコがえびす(恵比寿・戎)と習合・同一視されている。
ヒルコ(蛭子神、蛭子命)を祭神とする神社は多い。西宮神社(兵庫県西宮市)などで祀られている。(丸谷追記)

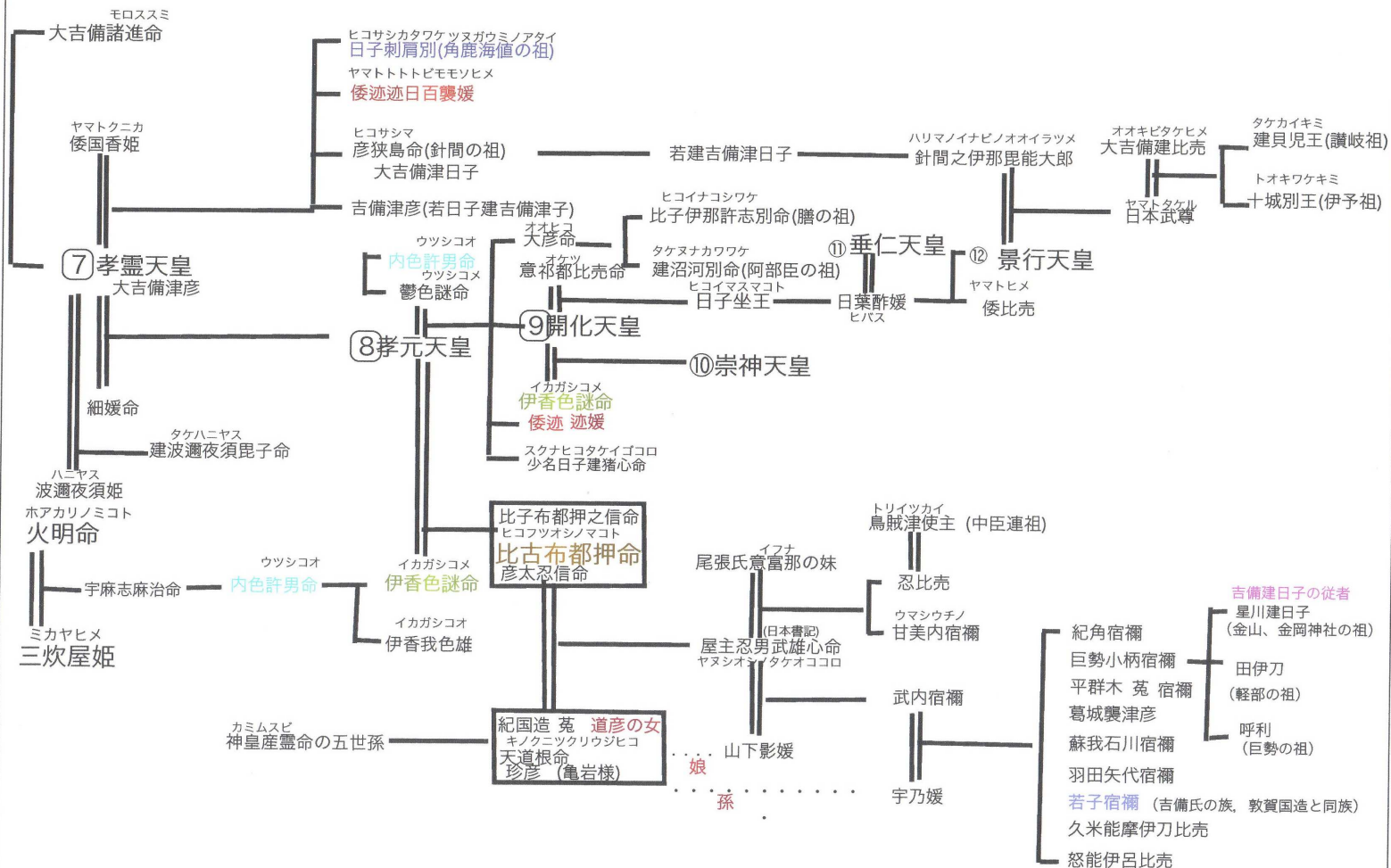






気比神社における岡山の古代史

ケヒor キビ



年間行事

▶西大寺会陽宝木とり



▶1月……………初詣・ごま祈祷
(第3日曜日)

▶4月第3日曜日…芥子山会陽

▶12月……………除夜の鐘

▶月1回……………御大師様めぐり
(21ヶ所)

※地図はお寺にあります。

▶随時……………護摩、供養、祈願、
金神方除、写経会



山門



全景



大多羅駅より徒歩25分

広谷山如法寺本坊 無量寿院

第63世住職 大石 隆 英

岡山県岡山市広谷135

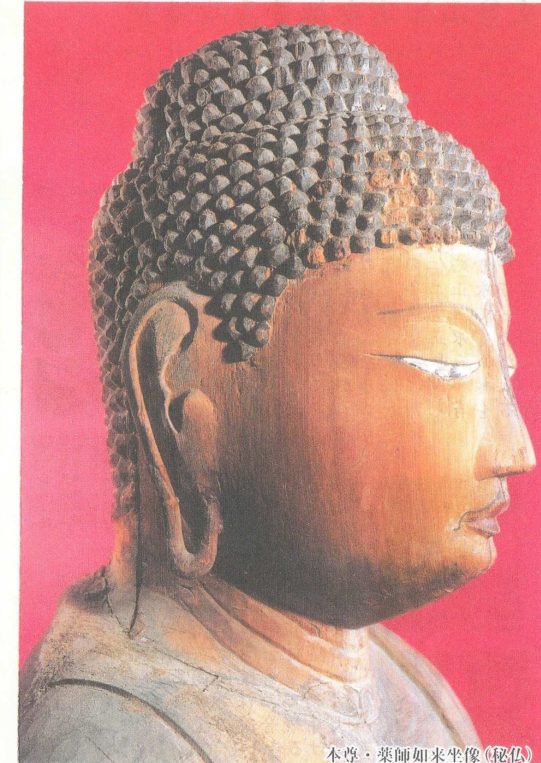
☎086-942-4340

☎086-944-2566

E-mailアドレス muryoujiuin@yahoo.co.jp

定価 百円(税込)

広谷山如法寺 無量寿院



本尊・薬師如来坐像(秘仏)



広谷山如法寺無量壽院縁起

如法寺は聖武天皇の神亀二年に創建された。開山は大倫和尚。天平勝宝年間(740~756)に報恩大師が開いた備前四十八カ寺の一つに数えられる。その後衰退したが中興したのは花山法皇で寛和二年(986)には三重塔や本堂などの伽藍が立ち並んだ。鎌倉時代には金山、大滝山、熊山と並んで芥子山(備前富士)は備前山岳寺院の一つとして全盛を迎えた。しかし応仁の乱以後の戦火の拡大で永正二年(1505)赤松氏によって三重塔、本堂などが焼かれた。永正十年には本堂を再建したが三重塔は立たなかった。

永禄年間には復興、寺領は四百石を有したという。江戸時代には塔中寺院は八カ寺あったが現在は無量壽院と西方寺のみとなっている。

現本堂は棟札により明和五年(1768)の建築(岡山市重要文化財)。それまでの中世の建材を残して用いている。

無量壽院は高野山真言宗の古刹で、裸祭りと呼ばれる西大寺観音院の宝木(原木)を授ける寺として知られている。



本尊・薬師如来坐像

本尊は薬師如来(高さ92センチ)。寺伝では行基上人の作と伝えるが、優美な仏で平安時代後期の作と見られる。素材の木を生かした、神像を思わせるつくりから、悪疫退散の薬師と会陽の関連が注目される。



聖徳太子立像

(岡山市重要文化財)

南無仏太子と呼ばれる聖徳太子二歳像(高さ69.5センチ)である。保存状態も比較的良好、鎌倉時代後期の優品である。

この地方の聖徳太子信仰の一つとしても貴重な仏像である。

韋駄天立像

韋駄天はシバ神の子といわれ、走力がすぐれていることから釈迦の涅槃の際に招かれ、遺法の護持に当たったという。甲冑を着け、合掌する姿で表される。韋駄天像は珍しく、芥子山の重巖大権現との関連が注目される。

江戸期の作であるが刃法のすぐれた一流の仏師の作である。



けしごやま 芥子山会陽



を授けている古刹だが、かつては当山でも会陽が行われていたとの伝承があり、大正時代には「福引き」の形で残っていた。

このほど芥子山会陽に用いられた宝木が発見されたことから地元有志によって実行委員会がつくられ、平成十四年四月に(第3日曜日)に復活、以後毎年行われる。

芥子山会陽は裸による宝木取りのデモンストレーション、ついで福引きにより本宝木2本、副宝木7本が授けられる。餅投げなども行われる。

備前富士と呼ばれる芥子山の頂上には洞窟があり、不動明王の重巖(かきねいわ)大権現が祀られている。洞窟は天狗岩ともいわれ、悪疫退散の霊験があるとされてきた。無量壽院は西大寺観音院の会陽に投下する宝木



備前神奈吉



徐福の寺 朝原山 安養寺

2/2ページ

年行事

- 初詣 一月一日〜三日
- 初寅大祭 旧正月初めの寅の日
十二時、十二日、十二カ月、十二年、全ての十二を合わせ導く寅の神、自由を尊ぶ太陽神「吉祥天女」を助ける神「百体毘沙門天(旧国宝)」徐福さんのお祭
- 七福甘茶祭 四月一日〜七日
- 毘沙門さまの秋祭 十一月三日
(文化の日)



初寅大祭 徐福さんのお祭

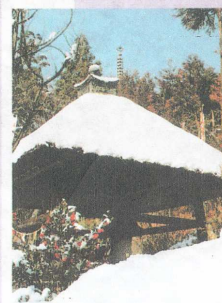
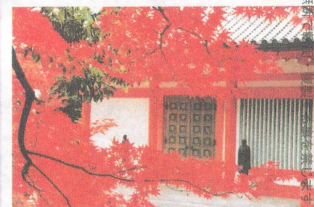


朝原山 安養寺
〒710-0007 倉敷市浅原1573
TEL 086-422-1110

自然と共に



釈迦誕生仏像(白風期)



Copyright 2009 SHIMOGAMO-JINJA. All Rights Reserved.

吉備福山は徐福の「やまたい」
朝原は徐福の里「瀛洲」

「東方海上に三神山あり、蓬萊、方丈、瀛洲と云い不老不死の妙薬あり」と始皇帝の命を受け、三千人の童子を伴い琅邪の港を舟出し、帰らなかつた。と中国最古の歴史書『史記』に記されている前三世紀の神話の主人公が徐福です。

徐福は江蘇省贛榆県金山郷徐阜村の人、太陽神(道教)を尊奉する大宗教家、仙人、方士です。秦國統一の王始皇帝は、国家と云う器作りに法制度と施き、政治、経済、国防と一手に掌握、実行のため、個人限定、太陽神の「九星の法」を使用し、新型十二時間時計「漏矢」の製作と徐福に命じたのが、琅邪郡の「ろうやだい」でした。

また、製作準備が太陽の縦の道「子午線」の下、東西南北、十字形の備わった吉備の「やまたい」福山であつたのです。

何者にも拘束されず自由に暮らす人が、始皇帝の求めた不老不死の仙人「安期生」、福山南麓「朝原千坊」は、安期生の棲む「えいしゅう」なのです。

弘法大師空海、榮西禪師、調御坊重源さまもご修行され、今日も三千年の時空と超える「あんき」な七福神、百体毘沙門天信仰がなされています。二十一世紀は自分で自由と云う器を作るのです。楠築遺跡の亀石の様な器を作るのです。

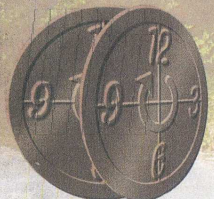
蓬萊(永遠の時間)

瀛洲(永遠の生命)

方丈(永遠の金銭)



底辺×高さ× $\frac{1}{2}$ =面積



生命×金銭=時間

GU1472 QP100653



